

SHIRO TORI 通信

Vo.12

2016 summer

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

第1回、大自然の中で楽しむ
肉の食べ放題イベント！！

“伊那谷肉まつり2016”

「長野・伊那きのご王国」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム



施工事例

創業53年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

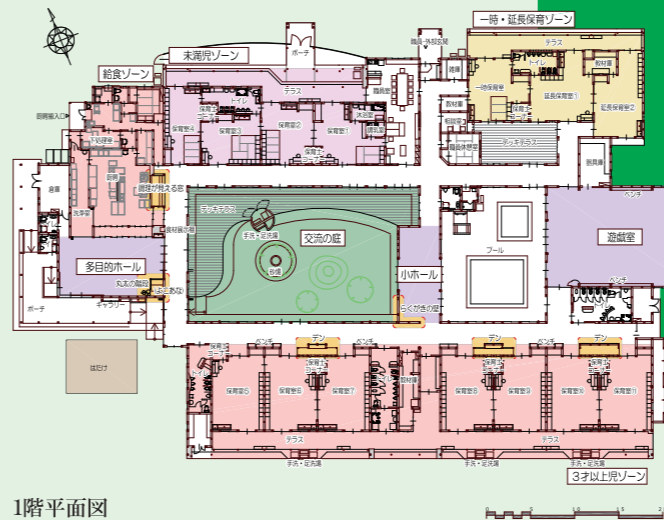
歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

好奇心旺盛な
園児たちが
心豊かに生活で
きる園舎

建築概要

- 名称: 名子中央保育園
- 発注者: 松川町
- 所在地: 長野県下伊那郡松川町
- 構造・階数: 木造・平屋
- 延床面積: 1,971.52㎡



1階平面図

この保育園は長野県下伊那郡松川町の行政改革推進の一環として町内にあった2つの保育園を統合した保育園です。

未就児(0〜2才) / 3才以上児(3〜5才) / 一時・延長保育の各ゾーンを明確にし、2つの庭、3つのホールを設けることで、園児たちが心豊かに生活できる園舎計画としました。

中庭(交流の庭)は、未就児の外遊びの場としてのほか、3才以上児と異なる生活リズムをもつ未就児への動きや音などへの配慮から、園庭(うらんどりの庭)・遊戯室を含む3才以上児ゾーンとの緩衝帯としてや、建物への採光や通風の確保としての役割も果たしています。安全管理上、園舎内から容易に庭の様子をうかがうこともできる設計です。また、未就児と3才以上児ゾーンとの間のこの庭

では、年上への憧れや年下への思いやりなど、異年齢が集うことにより、互いに成長していくことのできる「遊びや心の交流の場」となるよう計画しました。

好奇心旺盛な園児たちにとって、「穴があればのぞきたくなる」「段があれば登りたくなる」「トンネルがあればくぐりたくなる」そんな仕掛けを廊下やホールの共用部分に設け、それらを利用した運動やごっこ遊びなど、園児の発想力で自由に遊びを創り出せるよう、園児の目の高さに合わせて丸窓、丸太の階段や難易度の異なった肋木・クライミングウォール、デン、壁一面の落書きボード、ベンチなどを分散配置しました。

また、「調理の見える窓」として、廊下から厨房内が一望できる高さに大きな窓を設けました。給食の先生の顔が見え

る、園児の顔が見える。日頃園児と接する機会の少ない給食の先生方とのコミュニケーションが、食への興味・関心の沸く場所となればと考えています。

3つのホールは、通常の遊戯室のほか、小ホールと、多目的ホールを設けてどちらも園児の日常動線の中にあり、特徴として小ホールは、園舎の中央に位置し、いろいろな年齢の園児が集つての読み聞かせや創作作業など、遊戯室とは違った活動の利用が考えられます。多目的ホールは給食室に隣接し、外部の小公園(公共)や園の畑から直接アクセスできる、地域にも開くことのできるホールです。言われ始めて久しい食育や、地域交流の場所として最も多く利用してほしいホールとなっています。



1. 小公園(公共)から多目的ホール入り口をみる。奥園舎は、園庭までゆるやかな下りのスロープとなっている。園庭からの砂塵進入を防ぎ、園舎からの見通し(安全管理)を確保している
2. 保育室 サイドライトより採光・換気確保。状況に応じた保育ができるよう、2室を1室として使えるよう木製建具にて間仕切っている
3. 遊戯室 長野県産杉羽目板と細木繊維化粧板によって、森をイメージしたデザインが施されている
4. 廊下に設けたデン(クライミングウォール・肋木)年代ごとに種類や難易度を変化。ベンチも設置



建築NEWS

若者の建設業界離れが深刻な問題！！

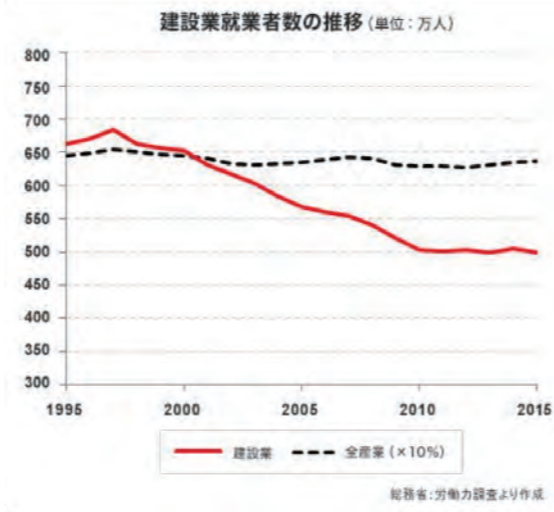
建設業は外部環境に大きく影響を受ける業界です。その意味では、東日本大震災後の復興事業が継続していることに加え、2020年開催の東京オリンピック需要が重なる現在は絶好の経営環境にあると言えます。

しかし、現在この業界共通の悩みは「仕事はあるけど人が足りない」というものです。

建設業は若者が行きたがらない、入ってもすぐに辞めてしまう業界の代表格になってしまったのです。以前から言われている、3K(きつい、危険、汚い)のイメージも影響しているでしょう。その上、若い人が減っていること自体が職場が年配の人ばかりで面白くない、といった悪循環を招いているのです。

大型の公共工事であれば大手ゼネコンが受注し、実際に工事するのは下請け業者が中心の重層下請け構造ができあがっています。

建設業界における人手不足の深刻さは、「震災復興のプランはできたけど、いつになっても被災者の住宅が完成しない」「東京にオリンピックは誘致できたけど、競技会場建設が計画通り進まない」といった問題につな



がっています。

これに対して、国も2013年度から公共工事設計労務単価を急速に引き上げ、2016年の改定では、2012年度に比較すると35%の大幅改善となっています。しかしながら、先述した若年定着率の悪さに加え、全産業的な人手不足も重なり、思うような効果が現われていません。

たいていの国なら外国からの移民労働者に頼るところでしょうが、わが国の民意からはそれもハードルが高い選択肢です。

城取設計 ニュース

お客様との距離感を大切に

創業53年目を迎える弊社ですが、創業以来多くの建物に関わらせていただきました。弊社が創業以来大切にしてきたことがありますが、それはお客様との距離感です。建物の建設中も設計士が足しげく現場に通って打ち合わせをしたり竣工までの過程でお客様が不安になることに耳を傾けたり、また途中段階でのご要望にもすぐに対応しています。

昨年からはじめた事ですが、お客様と一緒に建物をつくっている思いを共有したいことから、竣工後に建設過程を撮影・編集した動画や画像をお渡しします。こうすることで、建設中に現場に通えないお客様には施工過程を知っていただくことができますし、建築士もその建物への思い入れがいつそう強くなり、お客様からいただく「ありがとう」の言葉にさらなる重みを感じるようになります。作成した映像は城取設計のホームページでも見ることが出来ますのでアクセスしてみてください。



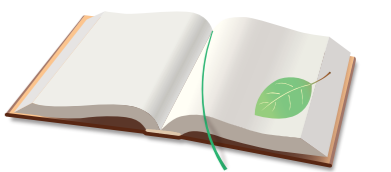
城取設計ホームページ
<http://www.shiro-tori.com>

おすすめ

この一冊

「小倉昌勇 祈りと経営」

森 健 (小学館)



史上初の快挙！選考委員全員が満点をつけた第22回小学館ノンフィクション大賞受賞作

第22回小学館ノンフィクション大賞で、賞の歴史上初めて選考委員全員が満点をつけた大賞受賞作を紹介します。著者は、「結果的に墓を暴くことになった僕を小倉昌勇は恨んでいるかもしれない」と語り、丹念な取材で、これまで全く描かれてこなかった「宅急便の父」ことヤマト運輸の2代目社長・小倉昌勇氏の人物像に迫っています。享年80で逝去した小倉氏に関してはは自著・評伝共に多数刊行され、「論理と正義の人」として知られています。現役引退後、私財46億円を投じて「ヤマト福祉財団」を創設、障害者福祉に晩年を捧げました。しかし、なぜ多額の私財を投じたのか、理由は何も語られていません。取材を進めると小倉は現役時代から「ある問題」で葛藤を抱えており、その力ギを解くのは家庭にありました。驚きのラストまで、息をつかせない展開になっています。



小倉昌勇 祈りと経営 森 健
ヤマト宅急便の父が 闘ったもの
定価・本体1,600円+税
発売日・2016年1月25日
形態・四六判(272ページ)

建築探訪

まつもとも市民芸術館

館長兼芸術監督に俳優・演出家の串田和美氏を迎えて2004年8月に開館したまとも市民芸術館。最近では、「信州まともと大歌舞伎」の「四谷怪談」の講演も開かれ話題になりました。

老朽化した松本市民会館を取り壊して同地の公共施設として3代目にあたる現在のまとも市民芸術館が約9,000平方メートルの敷地に、日本を代表する建築家の一人伊東豊雄の設計により建設されました。日本では比較的珍しい4層のバルコニー席を備える馬蹄形の主ホールは、田の字型の巨大な4面舞台を備え、幅広い演出に対応しています。音響家が選ぶ優良ホール100選にも選ばれています。





地元のチカラ

この街の企業

今回の「この街の企業」は長野県伊那市西春近にあります長野・伊那きのこ王国で9月17日から19日まで開催される「伊那谷肉まつり2016」をご紹介します。

初開催します。牛肉、豚肉、鶏肉をはじめ、豊富なメニューが食べ放題。また、人気アーティストによるライブや

長野・伊那きのこ王国
(伊那市西春近)

長野・伊那きのこ王国(伊那スキーリゾート)は、約2,000坪の敷地で大自然を楽しみながら、きのこ狩りを楽しむことが出来ます。700席完備のレストランではバーベキューが楽しめるビアガーデンや獲れたてキノコ料理が満喫できる、きのこのテーマパークです。また、スキーシーズンには「きのこ狩りのできるスキー場」として営業しています。

日本バーベキュー協会初級インストラクター検定開催、信州プロレスのスペシャル興行などを連日開催します。同時開催の「伊那谷子育てフェス2016」では、スポーツ体験やアウトドア体験、各種展示や販売などもあり、長野・伊那きのこ王国で家族みんなが楽しめる3日間となっています。広い伊那スキーリゾートの展望デッキで秋を満喫して下さい。

10年、20年先も歩み続けて

鷲尾さんが、きのこ王国を始めたきっかけはスキー場の夏の利活用をどうしたらよいか長年考えた中で生まれたものです。きのこ王国実現により、雇用安定及び従業員スキルアップ、地元企業様との取引増大、夏の誘客、売上拡大と微力ながら地域に貢献ができた事がとても嬉しいと語られました。



株式会社 伊那リゾート
長野県伊那市西春近3390
TEL:0265-73-8855
URL: <http://kinokoookoku.com/>

オーナーの横顔
取締役 鷲尾 晋

新作!! グラニータ&厚切りトースト

カフェタイズに夏の新作メニューが仲間入りしました。飲むかき氷のような飲み物、その名もグラニータ!抹茶、マンゴー、コーヒーの3種類です。おすすめはホイップトッピング。それから厚切りトースト!!ご注文いただいてから焼き上げるためサクッふわっの食感がお楽しみいただけます。おすすめはクリームチーズ&ナッツ。こくのあるクリームチーズとキャラメルハーモニーが絶品です。是非お試しください。



カフェタイズ
伊那市西町5863-1
www.cafeties.com
営業時間
月~木 11:00~18:00
金 日 11:00~22:00
土 日 10:00~22:00
日 10:00~20:00

営業コラム



カフェタイズでは昨年開催しました「坪田信貴氏講演会」に続き、6大陸の最高峰に登頂した登山家、「栗城史多氏講演会」を伊那文化会館で開催しました。

00名という多くの皆様に参加いただき、また招待させていただきました地元中学生も参加し会場満席の中開催出来ましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

講師を務めた栗城さんは、これまで6大陸の最高峰や酸素ボンベを使わない単独無酸素での8000メートル峰4座の登頂に成功してきました。2012年の秋にエベレストに挑戦中両手両足、鼻が凍傷になり、手の指9本の大部分を失うも2014年に復帰し、現在も山に登り続けています。登頂を断念しながらも決して諦めることなくしっかりと目標を設定し、行動し、実現に向けて動かれている栗城さんから多くのことを学びました。

講演当日は長野県中から約4



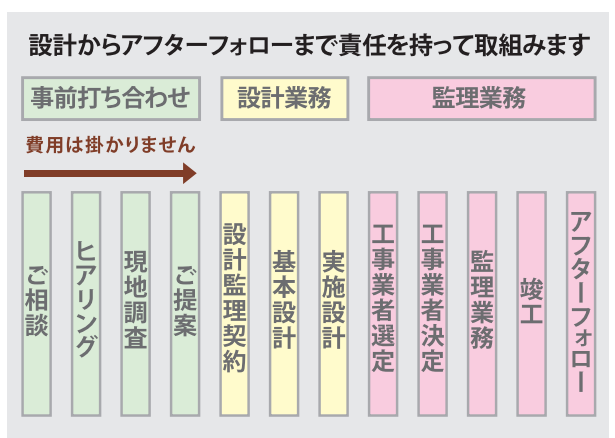
時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つのであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。



株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：（上伊）J 第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：（社）長野県建築士事務所協会
（社）長野県建築士会

■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

- 本社
長野県伊那市西町 5863-1
TEL：0265-72-7271
FAX：0265-72-7270

